



彩の国  
埼玉県

平成28年度

埼玉県公立高等学校入学者選抜  
学力検査結果について

埼玉県教育委員会



埼玉県のマスコット「さいたまっち」

# I 埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査結果について

## 1 調査の目的

平成28年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査（3月2日実施）の結果分析に基づいて、受検者の学力及び学習の状況について診断を行うとともに、特に誤答を分析することにより、学習指導上の問題点を発見し、県内の中学校及び高等学校の学習指導の在り方についての資料を提供し、併せて今後の学力検査問題の作成についての参考資料を得ようとするものである。

## 2 調査の方法

平成28年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査を受検した全日制46,820名、定時制1,119名の計47,939名の答案の中から、系統別抽出法によって479名の答案を抽出し標本とした。これらを基本答案として、各問に対する答案の内容を分析し、必要な数値を示して所見を加えた。

## 3 学力検査問題の出題の基本方針

- ① 中学校における平素の学習を重んじ、中学校学習指導要領に基づいて出題する。
- ② 基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題に配慮する。
- ③ 各教科の目標に照らして、受検者の学力を十分に把握できるように、出題の内容、出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めよう配慮する。

## 4 各教科の出題方針

平成28年度学力検査における各教科の出題に当たって、次の点に配慮した。

### 【国語】

- ① 国語の基礎的・基本的な内容について、できるだけ広範囲にわたって出題し、国語を適切に表現し、正確に理解する力をみるように努める。
- ② 文学的な文章と説明的な文章を理解する力をみるように努める。また、平易な古典を読む基本的な力をみるように努める。
- ③ 作文と言語事項についての問題を出題し、文章表現力や基礎的な言語能力をみるように努める。

### 【社会】

- ① 社会科の各分野（地理・歴史・公民）相互の関連を図り、基礎的な知識及び技能とともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題するように努める。
- ② 地理的分野では、日本や世界の地理的事象についての基礎的な知識及び相互関係の理解をみるように努める。
- ③ 歴史的分野では、時代の特色や推移の総合的把握及び因果関係の理解をみるように努める。
- ④ 公民的分野では、現代の社会的事象についての基礎的な知識及び今日的課題を総合的に把握する能力をみるように努める。

### 【数学】

- ① 数学の基礎的な知識及び技能をみる問題について、広範囲にわたって出題するように努める。
- ② 数学的活動を通して、数学的な表現や処理をする能力、事象を数理的に考察する能力、数学的な見方や考え方を活用する能力をみる問題を出題するように努める。
- ③ 「数と式」、「図形」、「関数」及び「資料の活用」に関する内容について総合的に活用する能力をみるように努める。
- ④ 図形についての操作や作図を重視し、図形に対する直観的な見方や考え方や論理的に考察する力をみるように配慮する。

### 【理科】

- ① 第1分野、第2分野及び各学年の配分を考慮し、できるだけ広範囲にわたって出題するように努める。
- ② 理科の基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題するように努める。
- ③ 自然を調べ、探究する態度を重視し、観察、実験などに関する問題を出題する。

### 【英語】

- ① 英語の基礎的な知識及び技能をみる問題について、コミュニケーション能力をみることを重視し、できるだけ広範囲にわたって出題するように努める。
- ② リスニングテストは、まとまりのある英語の話を聞いて、その概要や要点を聞き取る力をみることに重点を置く。
- ③ 平易な英語を理解する力や平易な英語で表現する力とともに、基本的な語、連語、慣用表現及び文法事項の習熟の程度をみるように配慮する。
- ④ ある程度の長さを持ち、まとまりのある英語の文章の概要や要点を読み取る力をみる問題を出題するように努める。

## 5 調査の概要

### (1) 母集団・標本の平均及び標準偏差

年 度		個体数	平 均						合 計
			国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	全教科平均	
H28	母集団	47,939 (46,820)	57.2 (57.9)	62.8 (63.7)	50.4 (51.1)	38.6 (39.2)	56.6 (57.4)	53.1 (53.9)	265.7 (269.4)
	標 本	479	56.8	62.5	50.6	38.1	56.8	52.9	264.7
H27	母集団	47,640 (46,386)	55.4 (56.0)	48.2 (49.1)	47.3 (48.1)	49.4 (50.3)	54.7 (55.6)	51.0 (51.8)	255.0 (259.1)
	標 本	476	55.3	48.7	47.8	50.3	55.6	51.5	257.7

(注1) 合計欄の平均点は、受検者の合計点より算出しており、各教科の平均点を合計したものとは一致しない場合がある。

(注2) 母集団・標本には定時制受検者を含む。( )内は、全日制受検者のみの数字である。

年 度	個体数	標 準 偏 差				
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
H28	標 本 479	18.24	22.36	18.65	18.95	23.72
H27	標 本 476	15.05	20.75	19.52	21.83	23.65

### (2) 平成28年度 学力検査問題の出題数

H28		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	合 計
問 題 数 別	大問数	5	6	4	5	5	25
	小問数	24	33	21	34	31	143
	選択肢によるもの	10(41.7%)	19(57.6%)	1(4.8%)	13(38.2%)	15(48.4%)	58(40.6%)
	記述によるもの	14(58.3%)	14(42.4%)	20(95.2%)	21(61.8%)	16(51.6%)	85(59.4%)
	用語・単語	8	8	16	13	8	53
	文章表現	6	6	3	7	8	30
	作 図	0	0	1	1	0	2
配 点	選択肢によるもの	36(36.0%)	48(48.0%)	5(5.0%)	32(32.0%)	42(42.0%)	163(32.6%)
	記述によるもの	64(64.0%)	52(52.0%)	95(95.0%)	68(68.0%)	58(58.0%)	337(67.4%)

### (3) 年度別学力検査の全教科受検者数と各教科の平均

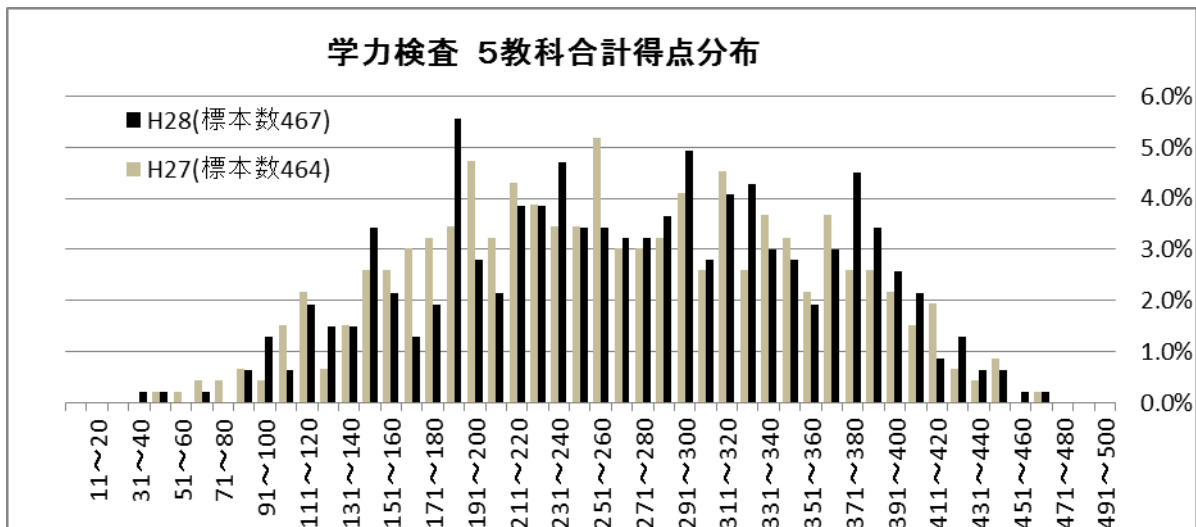
年度	全教科受検者	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	平 均	総 計
H28	46,820	57.9	63.7	51.1	39.2	57.4	53.9	269.4
H27	46,386	56.0	49.1	48.1	50.3	55.6	51.8	259.1
H26	46,702	64.0	49.5	45.0	46.1	45.0	49.9	249.6
H25	46,996	65.6	50.3	42.4	63.4	53.7	55.1	275.5
H24	45,942	59.7	49.0	36.5	48.7	44.1	47.6	237.9

(注) 数字はすべて全日制受検者のものである。

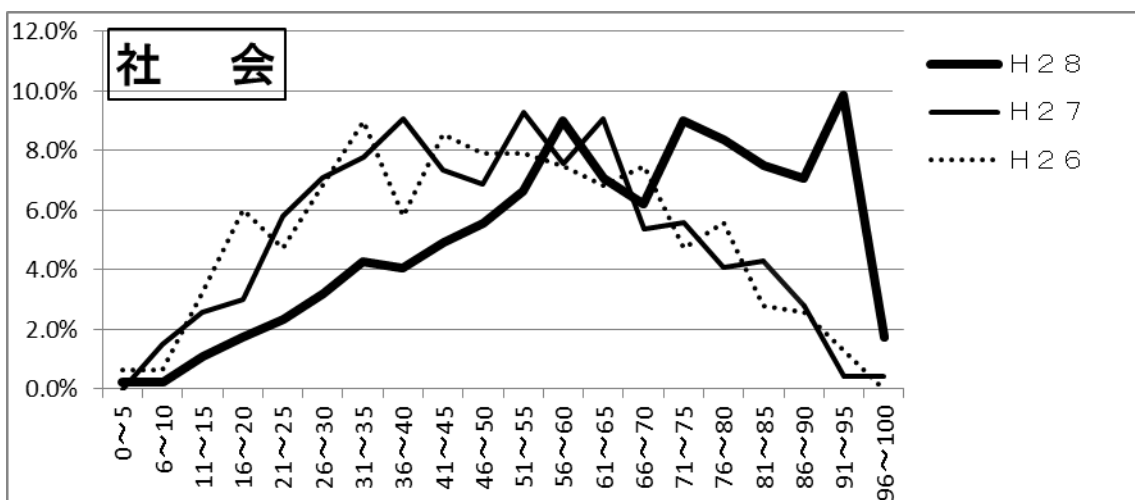
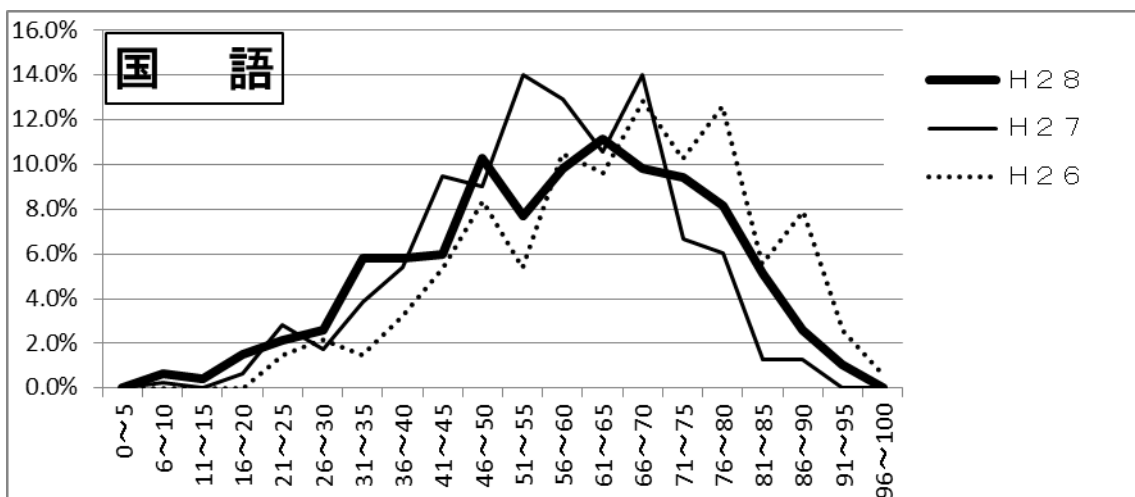
### (4) 各教科の得点分布

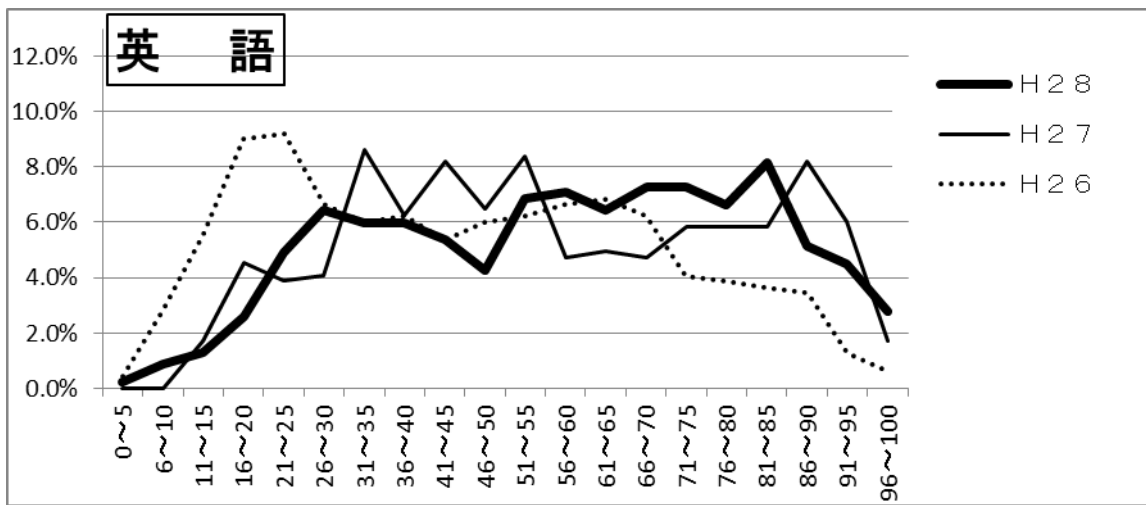
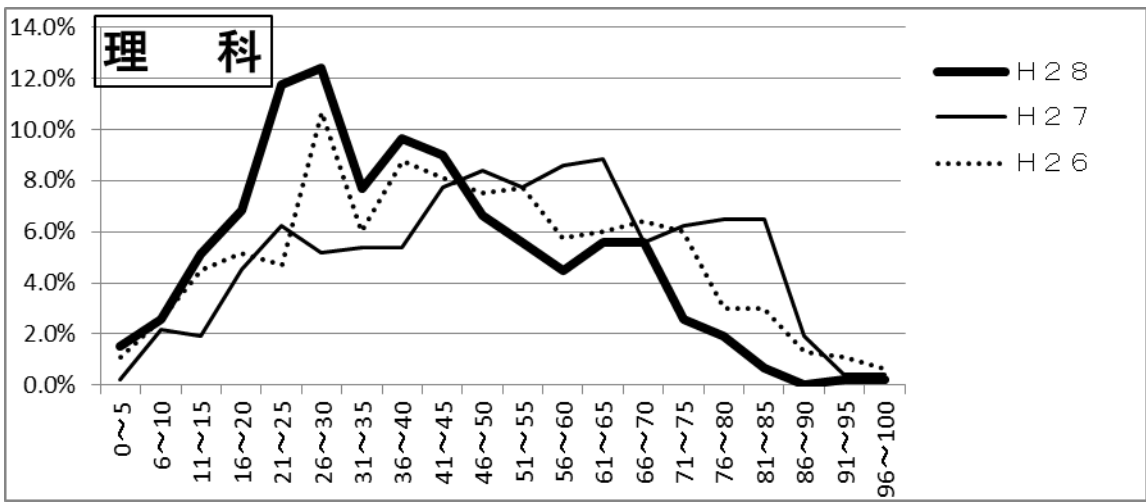
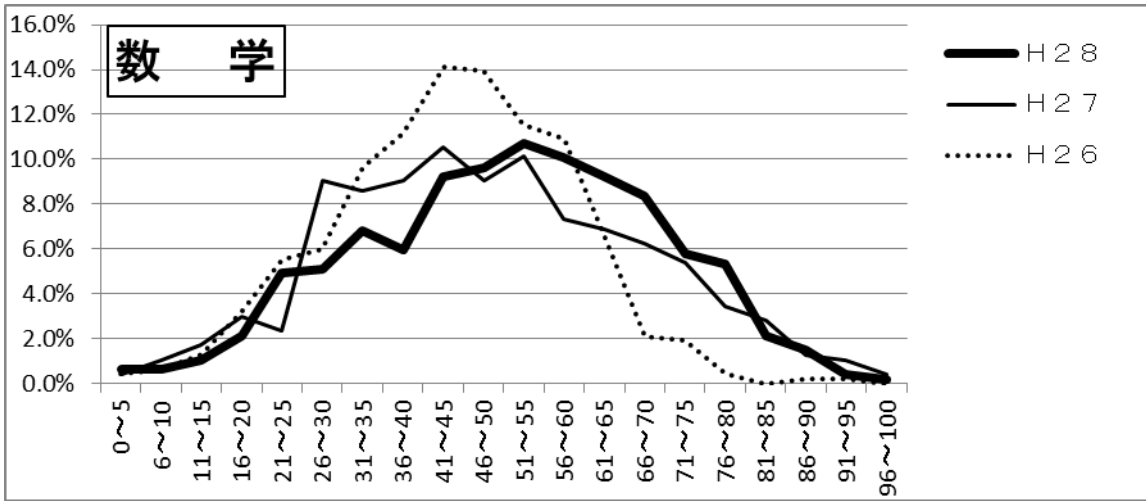
次の資料は、母集団から1%を抽出した全日制のみの標本を調べたものである。資料1は、5教科合計得点の分布である。平成28年度学力検査は、最頻値が「181~190」で、中央値が「271~280」であった。平成27年度学力検査では、最頻値及び中央値ともに「251~260」であった。また、最高点は平成28年度学力検査が464点、平成27年度が463点であった。資料2は、教科別の得点の分布である。資料3は、合計得点の上位30%及び下位30%の受検者が、各教科でどのような得点であったかを示している。

資料1 学力検査・5教科合計得点分布



資料2 教科別得点分布 (標本数 H28 : 467、H27 : 464、H26 : 467)





資料3 合計得点の上位30%及び下位30%の受検者の教科別平均点

